

秦野市公共施設再配置計画推進会議開催結果

会議名	☐ 令和 年度 第 回 本部会			
	☒ 令和 5 年度 第 2 回 学校施設との複合化		プロジェクトチーム	
	☐ 令和 年度 第 回		ワーキンググループ	
開催日時	令和 6 年 3 月 12 日 （ 火 ） 午 後 4 時 ～ 午 後 5 時			
開催場所	3 A 会議室			
出席者	政策部長（チームリーダー）		くらし安心部長	文化スポーツ部長
	福祉部長		こども健康部長	教育部長
	教育総務課長（説明員）			
	事務局	行政経営課長、同課長代理		
議 題	1 みらいの学校整備指針（素案）について			
	2 学校施設との複合化に向けた検討スケジュールの見直しについて			
	3 その他			
配付資料	資料 1 「みんなで考えるみらいの学校整備指針」（素案）			
	資料 2 学校施設との複合化に向けた検討スケジュール			
会 議 概 要				
1 みらいの学校整備指針（素案）について				
資料 1 に基づき、教育総務課長から説明				
≪説明概要≫				
・ 前回会議（1 月 9 日開催）で示した後、教育委員と庁内の意見を踏まえて修正を加えた。				
・ 修正箇所は、表現方法や字句の整理が中心で、構成が大きく変わるものではない。				
・ 複合化の対象施設については、地域との話し合いの中で具体的に考えていくものとするため、指針の中には明記していない。				
・ 本指針は、あくまでも地域との協議のための「素案」で、これを基に議論を深めていく目的のため、大まかに整理をしたものである。				
① このプロジェクトチームやワーキンググループの構成員として、老人いこいの家の所管課を含めているが、複合化の対象施設に老人いこいの家は含めないのか。				
→ 本指針は、学校施設の未来に特化したものであるため、複合化の考え方は、再配置計画の中で整理する（事務局）。				
2 学校施設との複合化に向けた検討スケジュールの見直しについて				
資料 2 に基づき、事務局から説明				
≪説明概要≫				
既存のスケジュールの変更部分は朱書きし、新たに「防災拠点」のスケジュールを追加した。				
② サンライフ鶴巻のあり方は、どのような方向性を考えているのか。				
→ 再配置計画では、耐用年数まで使った後、廃止することで考えている（事務局）。				
③ 広畑小学校のあり方は、（仮称）大根地区学校整備懇話会の中で議論するのか。				
→ その予定である。その議論を踏まえて、整備構想を作っていく（教育総務課長）。				

④ （仮称）大根地区学校整備懇話会では、例えば、広畑ふれあいプラザや体育館を残したいなど、跡地利用のことも含めて議論するのか。

→ 積極的に市の考えを伝えることは考えていない。まずは地域の声を聴いて、考えを整理していくことが望ましいと思っている。

跡地利用については、教育委員会が考えるべきものではないので、再配置計画所管課と一緒に考えていく。懇話会は、基本的に学校をどうするかを考えるためのもので、庁内の検討組織の中で、市の考え方を議論していくものと考えている（教育総務課長）。

⑤ 能登半島の地震では、行政が指定する避難所以外に、自主避難所が設けられた。自治会館のような施設と推察するが、そこで、地域の人たちが集まって助け合っているようだ。そういった考え方も、今後、検討項目に取り入れる必要があると思っているので、引き続き、防災所管課を交えて検討してもらいたい。

→ 再配置計画では、学校に機能を集約していくことをベースとしているが、防災拠点の観点から、あえて公民館は学校と離れた場所に置いておくという意見も出てくると思う。

そういった議論をしっかりとした上で、最終的な再配置の考えを出していく必要があると思っている（教育総務課長）。

⑥ 令和6年度末に改定する「子ども・子育て支援事業計画」には、こども園の個別具体的な方向性が含まれるのか。

→ そこまで細かい内容は入らないが、計画を作るに当たって、保育需要を調査する。それを基に、こども園をいくつ維持しなければならないかというところが見えてくるので、方向性が示せると思っている。

また、こども園の受け皿では吸収できない教育利用の希望者数を、何か所の公立幼稚園で賄うかを合わせて把握し、幼稚園の数を減らすことを想定している（教育総務課長）。

⑦ 「高齢者サロン」の空白地域で、地域の要望があれば児童館を活用してもよいのか。

→ 将来の公共施設の複合化を考え、10年後、20年後に今と同じ需要があるのかなどを踏まえて考えていくべきものだと思う（政策部長）。

3 その他

事務局から今後の会議スケジュールについて報告

備考	
----	--